

佳木斯市政府表敬訪問時の長谷川暁子さん挨拶

尊敬する市長陳代文先生、李長義先生ならびに市政府スタッフの皆さま、メディアの皆さま。本日はこのように盛大にお迎え頂き心から感謝申し上げます。

このようにハルピン、佳木斯に帰って参りますが、ハルピンと佳木斯では心の持ち方に少し違いがありまして、佳木斯は本当に里帰りしたような気分しております。

この20年来、帰って参ります度に、佳木斯市のご発展、ご繁栄に感動と喜びの気持ち湧き上がって参ります。農村の人々も街の庶民も日増しに豊かになっていく姿を拝見し、我が事のように喜ばしく思い、佳木斯は私の故郷なのだとしみじみと思えます。佳木斯市が皆さまのお力で今後ますます発展し、豊かになっていくことを心から願っております。

長谷川テルの娘としてこのように訪問させていただいておりますが、母テルの陵墓はもちろん私個人のものではなく、国家のもの、中国人民のものであります。また中日両国人民の友好の証でもあります。ここに改めて陵墓を建設し、管理し、立派に維持して下さっております市長さま始め、政府、市民の皆さまに心から感謝申し上げます。

私も歳を重ね、これからどれほど帰ってこられるか心もとない限りですが、市政府、人民の皆さまが陵墓を守ってくださることを固く信じております。

私自身微力ではありますが、中日友好のためにできるだけの力を尽くして参りたいとお誓いいたします。本日は市長さま始め皆さまが休日にもかかわらず、このように温かくお迎えくださったこと、本当に有難うございました。